

家庭でできる耳の聞こえと発達のチェック

赤ちゃんは、たくさんの音を聴いて、周りの様子を理解したり、大好きな人とやり取りを楽しんだり、言葉を話す準備をしています。

このチェックリストは、きこえと言葉の発達を月齢ごとに書き出しています。

お子さんができる項目にチェックしてみてください。発達には個人差もありますので、ご心配なことがありましたら、かかりつけの先生に相談してみてください。

3か月頃

- 1 大きな音に驚く
- 2 大きな音で目を覚ます
- 3 音がする方を向く
- 4 泣いているときに、声をかけると泣きやむ
- 5 あやすと笑う
- 6 話しかけると、「アー」「ウー」などと声をだす



6か月頃

- 1 音がする方を向く
- 2 音が出るおもちゃを好む
- 3 両親など、よく知っている人の声を聞きわける
- 4 声を出して笑う
- 5 「キャッキャッ」と声を出してよろこぶ
- 6 人に向かって声を出す

9か月頃



- 1 名前を呼ぶとふりむく
- 2 「イナイイナイバー」の遊びを喜ぶ
- 3 叱った声「ダメッ!」「コラッ!」などというとき、手を引っ込めたり、泣き出したりする。
- 4 おもちゃに向かって声を出す
- 5 「マ」「パ」「バ」などの音を出す
- 6 「チャ」「ダダ」などの音を出す

12か月頃

- 1 「ちょうだい」「ねんね」「いらっしゃい」などのことばを理解する
- 2 「バイバイ」のことばに反応する
- 3 大人のことばをまねようとする
- 4 意味のあることばではないが、さかんにおしゃべりをする
- 5 意味があることばを1つか2つ言える
(食べ物のことを「マンマ」、おかあさんを「ママ」など)
- 6 単語の一部をまねして言う



1歳6か月頃

- 1 絵本を読んでもらいたがる
- 2 絵本をみて知っているものを指す
- 3 簡単ないいつけがわかる(「その本を取って」「このゴミを捨てて」など)
- 4 意味があることばを1つか2つ言える
- 5 意味があることばを3つ以上言える
- 6 絵本をみて知っているものの名前を言う